

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 天仁会	代表者	平良 直樹	法人・事業所の特徴	医療法人設立の介護事業所で特に認知症の医療連携、相談に特化している 開設(建築)12年目の施設であるが事業所空間は清潔感があり環境が整っている 小規模多機能型居宅介護事業所と2ユニット型の認知症対応型共同生活(グループホーム)が同一建物内にある地域密着型サービスの複合施設です。
事業所名	小規模多機能型ケアホーム うえの家	管理者	玉城 めぐみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>継続して自己評価を実施、活用していくため、感染対策を行いながら毎日の申し送り、ミーティング内で実施方法について検討する</p> <p>2021年度の自己評価実施計画 2021年9月自己評価研修会 2021年10月自己評価実施 2021年11月資料説明、配布等 2022年1月外部評価 2022年3月改善計画報告等</p>	<p>自己評価に関しては予定通り実施したが、コロナウイルス感染症蔓延防止の為、集合研修会は開催出来なかったが、全職員での自己評価は実施できた。</p> <p>コロナ渦において、集団でのレクや活動に制限も有り感染症対策に努めた</p>	<p>コロナ渦で難しい部分もあると思うが、概ね具体的に取組まれていると思います。</p>	<p>継続して自己評価を実施、活用していくため、感染対策を行いながら毎日の申し送り、ミーティング内で実施方法について検討する</p> <p>2022年度の自己評価実施計画 2022年9月自己評価研修会 2022年10月自己評価実施 2022年11月資料説明、配布等 2023年1月外部評価 2023年3月改善計画報告等</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>事業所内に入りやすい工夫、しつらえとして、事業所内外の掲示物(季節飾りや花の植栽)は継続して実施していく</p> <p>2022年度は With コロナ時代を意識したしつらえや環境整備を考えていく</p>	<p>事業所入口に設置した、地域掲示板に季節案内、介護相談などの情報を掲示し、地域の方々が介護事業所と認識し、迷子の高齢者をお連れする事も有った。</p> <p>事業所内外の掲示物や植栽は継続し、季節の果物を地域の方へ提供できた。</p>	<p>清潔感がある事業所になっていると思います。</p>	<p>事業所内に入りやすい工夫、設えとして、事業所内外の掲示物(季節飾りや花の植栽)は継続して実施していく。</p> <p>2022年度は感染症対策を行いながら、設えや環境整備を考え実践していく。</p>



<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>感染症予防を徹底し、市中の感染状況を確認しながら、臨機応変に地域会議に参加するなど地域交流に努める。 運営推進会議を通じて、地域情報、地域課題を確認し、特に圏域の地域包括支援センターと連携していく。資料に地域の情報を載せていく。</p>	<p>運営推進会議において、地域包括支援センターの職員参加が安定し、様々な地域情報を共有できた事業所行事は、感染症対策から地域交流室の貸し出しは年間を通して制限した。 夜間の外灯点灯も年間を通じて実施し、クリスマスイルミネーションでも街灯代わりの役割を果たした</p>	<p>コロナ渦の為、なんとも言えない。 利用者以外にも、施設概要が知られているようである。 運営推進会議にて、コロナ渦で難しい中の参加の様子が伺える。</p>	<p>運営推進会議を通じて、地域情報、地域課題を確認し、圏域の地域包括支援センターと連携していく。 感染症対策を徹底しながら地域交流に努める。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>感染症予防を徹底し、市中の感染状況を確認しながら、どのように地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組みが行えるか、会議などで話し合い実践していく。</p>	<p>外出プログラムや地域行事の参加は感染症対策から制限した。 感染症対策を行いながら、ドライブや、近所への散歩、エントランスや駐車場でのお茶会等を行えた。</p>	<p>天気に合わせてドライブ（不定期）や夕方ドライブ、建物外でのお茶会等を実施している。 他事業所に比べても、比較的地域の方の運営推進会議への参加が確認できる。 コロナ渦で、地域の活動自体が縮小しているので、参加は難しくなっている事は理解している。 地域の方の相談から利用に繋がったケースの報告を受けています。</p>	<p>感染症対策を徹底しながら、市中の感染状況を確認し、どのように地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組みが行えるか、家族とも相談しながら支援を検討していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議において、報告や情報共有のみでなく、ケース個々の課題や事業所運営の悩みなどを共有し、意見交換やアドバイスを活かしていく。</p>	<p>コロナウイルス蔓延防止、緊急事態宣言下で、職員みの開催。資料配布で意見交換、聴取が難しかった（11月のみ集合開催できた）包括支援センター職員による的確なアドバイスが参考になった 利用者への紹介等。</p>	<p>今年度は感染症予防、対策からご利用者、ご家族の参加が減少した事、会議自体が職員のみでしか開催できなかった事は理解している。</p>	<p>運営推進会議で、報告や情報共有のみでなく、利用者個々の課題や事業所運営の悩みなどを共有し、意見交換やアドバイスを活かしていく。</p>

相談している！

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>年間計画策定による防災訓練（消防訓練含む）の計画・実施 防災計画（消防訓練含む）を作成した場合は運営推進会議にて情報を共有する。〇〇に参加してもらった、自治会の会長に参加してもらった等</p>	<p>防災訓練（消防訓練含む）については、年1回の実施を行い（2回目3月予定）、運営推進会議内にて実施内容を報告した 台風時に福祉避難所として、受け入れ準備を行った</p>	<p>次年度の運営推進会議で、報告等をしてみてはどうでしょうか。 運営推進会議で、避難訓練の様子は確認できる。（参加は出来ていない） 定期的な備蓄の報告も継続して実施してください。</p>	<p>年間計画策定による防災訓練（消防訓練含む）の計画・実施 防災計画（消防訓練含む）を計画、実施した場合は運営推進会議にて情報を共有する。</p>
----------------------------	---	--	--	--

・ 総務課長 → 自治会... 等